

【日本天文学会総会議事録】

日　　時：2012年9月20日（木）16:00 17:20
場　　所：大分大学旦野原キャンパス第二大講義室

I. 出席者確認

出席者の確認の結果、事前投票総数（会場参加者との重複は除く）が300名、委任状提出者が22名、会場参加者は168名だった。なお、会場参加者のうちで事前投票したものは、事前投票を無効とした。有効出席者総数は490名で、定足数（正会員総数1767名の1/5＝354名）を満たしていることを確認した。

II. 議長及び署名人

議長は規約に則り岡村理事長が務めた。次に、署名人として森　正樹、大藪進喜の両氏が選出された。

III. 議事

- 第1号議案：本原庶務理事が資料3に基づき、2012年度事業計画書（案）の説明を行った。賛成多数で承認された。
- 第2号議案：松尾会計理事が資料3に基づき、2012年度決算報告書（案）の説明を行った。新法人移行に伴い会計基準が変わり、一般会計・特別会計の区別がなくなること、15ヶ月予算を組むため、会費も1.25倍になること、支出については事業によっては経費が2倍になるものがあるため、旧一般会計分（公益一般事業＋法人会計）で350万円の赤字予算が組まれていることが説明された。これに対し、賛助会員や団体会員の会費も1.25倍になると支出が難しい団体もある、という指摘がなされた。現在の新細則ではそのようになるが、支払いを柔軟に対応するなどの運用で対応できないか理事会で検討することとした。また、予算の項目名に軽微な誤字が複数指摘され、修正することとした。以上の議論の末、賛成多数で承認された。
- 杉山副理事長が、新法人移行後の細則及び内規の体系の概要を説明した。天体発見賞細則は他の賞にあわせて内規に変更されること、委員会の設置根拠は内規ではなく、より上位の細則で行うようにすること、などが説明された。
- 第3号議案：『会長・副会長・理事・監事選考細則（案）』が賛成多数で承認された。
- 第4号議案：『役員の報酬及び費用に関する細則（案）』が賛成多数で承認された。
- 第5号議案：『日本天文学会委員会等に関する細則（案）』が説明された。途中、委員会名が重複していることが指摘され、来年2月に開催される予定の代議員総会で修正することとした。以上の議論ののち、賛成多数で承認された。
- 第6号議案：『会費に関する細則の修正案』が賛成多数で承認された。
- 第7号議案：評議員選挙施行細則の廃止が賛成多数で承認された。
- 第8号議案：理事長選挙施行細則の廃止が賛成多数で承認された。
- 第9号議案：天体発見賞に関する細則を廃止が賛成多数で承認された。なお、天体発見賞については同日行われた評議員会で承認された『日本天文学会天体発見賞内規』で規定されることが説明された。

IV. 報告

1. 代議員選挙結果報告（末松）

末松選挙管理委員長が資料1に基づき、新法人の代議員選挙結果を報告した。投票締め切りは2012年9月6日で、翌9月7日に開票を行った。有効投票数300通、有効得票総数4442であった。ここから35名の当選者および2名の補欠を選出した。得票順位の奇偶で任期が決まるため、同票の場合には抽選で順位をつけたことが説明された。これに対し、補欠の任期がいつまでになるかという質問がなされ、長い方の任期が適用されるため3年3ヶ月となることが説明された。

2. 会長候補者選挙結果報告（末松）

引続き末松選挙管理委員長が資料2に基づき、新法人の会長候補者選挙結果を報告した。桜井隆氏一名のみが推薦されたため、細則に基づき投票を行わず、桜井氏を会長候補者としたことが説明された。その後、桜井氏が短い挨拶を行った。

3. 新役員、委員候補者（本原）

資料3に基づき、2012年1月に代議員総会に提案される新理事会の候補者及び、各種委員会の委員が紹介された。

4. 宇宙開発利用の新体制について（井上）

井上　一氏より、宇宙開発利用体制の現状が報告された。基本的には春の総会時に説明したとおりになっており、内閣総理大臣が本部長を務める宇宙開発戦略本部が統括する。また、宇宙開発利用部会が文部科学省に設置され、従来からの宇宙開発委員会が行ってきた審査を引き継ぐ。宇宙での学術研究をボトムアップ的に進めるためには、この宇宙開発利用部会がしっかりしないといけない。

5. IAU報告（岡村）

岡村理事長（日本学術IAU分科会委員長）より、2012年IAU北京総会の報告があった。北朝鮮、エチオピア、カザフスタンが新たに加盟すること、日本から推薦した73名が新個人会員として承認されたこと、海部宣男氏が2012 15年期の会長に選出されたこと、IAUのDivisions構成の改訂が承認されたこと、総会にかかる決議で科学的な内容に関するものについては、今後総会不参加の会員も投票できる電子投票が導入されることが可決されたことなどが報告された。また、口頭論文発表に占める日本人の割合は5%であり、会員に占める割合約6%から見ると余り多いとはいえない。今後の総会により積極的に参加するよう呼びかけがなされた。

6. 日本学術会議報告（須藤）

須藤　靖氏より、日本学術会議の報告がなされた。我が国の宇宙政策のあり方と宇宙科学の推進についての提言書を半年かけて取りまとめ、6/27に提出した。また、大規模計画のマスタープランの一環として、中規模計画（10 100億円規模）についてもとりまとめる。現在研究者団体に11月締切でプロジェクトの推薦依頼をしており、その後12月、1月に分科会でその一部のヒアリングを行い、最終的に2013年2月17, 18日にシンポジウムを行う。

7. 以上をもって、特例社団法人日本天文学会としての定例総会はすべて完了した。最後に、岡村理事長が音頭を取って全員で一本締めを行い、終了した。

【資料リスト】

資料1　代議員選挙結果

資料2　会長選挙結果

資料3　【議案リスト】日本天文学会2013年度事業計画書案、2013年度収支予算書案、会長・副会長・理事・監事選考細則、役員の報酬および費用に関する細則、日本天文学会委員会等に関する細則、会費に関する細則、評議員選挙施行細則の廃止、理事長選挙施行細則の廃止、天体発見賞に関する細則の廃止と日本天文学会天体発見賞内規

【報告事項】次期役員・委員候補者

2012年9月20日 議　長：岡村定矩　　印

署名人：森　正樹　　印

署名人：大藪進喜　　印